

令和 3 年 4 月 9 日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

## ご生誕 120 年記念企画展「昭和天皇の生物学ご研究」 開催およびプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館(館長：篠田謙一)は、2021(令和3)年4月20日(火)から6月20日(日)までの期間、下記のとおり、ご生誕 120 年記念企画展「昭和天皇の生物学ご研究」を開催いたします。  
また、本展の開幕に先立ち4月19日(月)に別添のとおりプレス内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

昭和天皇(1901(明治34)年～1989(昭和64)年)は、ご幼少の頃から生物を研究することに興味を持たれ、生涯にわたる標本収集、そして、特に変形菌類や植物、ヒドロ虫類についての分類学研究などにより生物学の発展に大きく貢献をされました。昭和天皇の標本コレクションは総数6万点を超え、その多くが国立科学博物館に移管されています。今年は昭和天皇のご生誕から120年となります。この記念の年に、生物学者としての昭和天皇のお姿や、そのご研究の内容について、貴重なコレクションを通じて紹介します。

本展の開幕に先立ち、別添のとおり4月19日(月)午後3時30分～午後5時に、プレス内覧会を実施します。つきましては、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

### 記

【会 場】国立科学博物館 日本館1階 企画展示室(東京都台東区上野公園7-20)

【会 期】2021(令和3)年4月20日(火)～6月20日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時

【休 館 日】5月10日(月)・17日(月)・6月14日(月)※会期等は変更となることがあります。

【入 館 料】一般・大学生：630円(団体510円)(税込)、高校生以下および65歳以上無料  
※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主 催】国立科学博物館

【協 力】宮内庁、栃木県立博物館、日本学術振興会、山階鳥類研究所

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【お問合せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887、FAX:03-5814-9898、E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

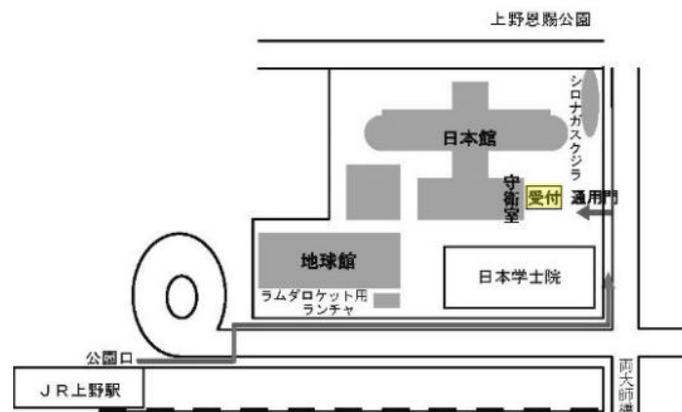
**ご生誕 120 年記念企画展「昭和天皇の生物学ご研究」  
プレス内覧会のお知らせ**  
2021(令和3)年4月19日(月)午後3時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、ご生誕 120 年記念企画展「昭和天皇の生物学ご研究」の開幕に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

- 【日時】 2021(令和3)年4月19日(月)  
午後3時30分～午後5時(受付開始 午後3時～)
- 【会場】 国立科学博物館 日本館1階 企画展示室 (東京都台東区上野公園7-20)
- 【受付場所】 日本館1階 守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。
- 【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分  
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分  
京成電鉄上野駅から徒歩10分  
※駐車場および駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

- 午後3時～ 受付開始(受付場所：日本館1階守衛室前)  
午後3時30分～午後5時 プレス内覧会(会場：日本館1階企画展示室)  
※本展監修者による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。  
※一部を除き展示室内の撮影が可能です。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願い】

- (1) 次の方のご参加は不可とさせていただきます。
- ・ 当日体温が37.5度以上の方
  - ・ その他、発熱、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

(2) 以下、ご理解・ご協力をお願いいたします。

①来館時

- ・受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。  
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・マスクの着用をお願いします(内覧時も含む)。
- ・会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。

②内覧時

- ・対人距離をなるべく2m以上あけるようお願いします。
- ・間隔調整のため、各展示は譲り合ってお覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

③来館後

- ・万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

**【お申込み方法】**

プレス内覧会に参加を希望される方は、4月15日(木)午後5時までに、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 [kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp) へて、メールにてお申込みください。

- ・件名：企画展「昭和天皇の生物学ご研究」プレス内覧会申込
- ・お名前
- ・ご所属
- ・緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね3日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、プレス内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、プレス内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

**【お問合せ・お申込み先】**

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887 FAX:03-5814-9898 E-mail:[kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp)

## 【本展監修者】



**国立科学博物館 動物研究部**  
**海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹**  
**並河 洋 (なみかわ ひろし)**

専門は動物系統分類学。  
無性生殖により「群体」という形態をとる海産無脊椎動物に興味をもち、特にヒドロ虫類を対象にして分類、発生、進化などを研究しています。



**国立科学博物館 植物研究部長**  
**細矢 剛 (ほそや つよし)**

専門は菌類学。  
ビョウタケ類とよばれる、変形菌なみに小型のきのこの分類や進化・生態などを、培養や分子データなどを駆使して研究しています。また、日本中の博物館からデータの提供を受けて、いろいろな生物の多様性データを世界に発信する活動を展開しています。



**国立科学博物館 植物研究部**  
**陸上植物研究グループ長**  
**田中 伸幸 (たなか のぶゆき)**

専門は植物系統分類学（種子植物、東南アジアのフロラ）。  
熱帯には、まだまだ科学で認識されていない植物がたくさん存在すると推定されています。東南アジア大陸部をフィールドに、ショウガ科などを中心として種子植物の種の多様性を明らかにする研究をしています。



**国立科学博物館 植物研究部**  
**菌類・藻類研究グループ 研究主幹**  
**北山 太樹 (きたやま たいじゅ)**

専門は海藻学。  
海藻、特に褐藻類の分類が専門ですが、その生態、進化、地理的分布、海藻相も研究しています。絶滅が危惧される淡水産紅藻や明治時代における海藻学の歴史についても調査をしています。



Special Exhibition

“120th Birth Anniversary:  
Biological Research  
by Emperor Showa”

2021  
4/20<sub>火</sub>  
6/20<sub>日</sub>

# 生物学で研究

# 昭和天皇の

ご生誕120年記念企画展



国立科学博物館 (東京・上野公園)

National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

日本館1階 企画展示室

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 5月10日(月)・17日(月)・6月14日(月)

入館料 一般・大学生630円(団体510円)(税込)  
※常設展示入館料のみでご利用いただけます。

主催: 国立科学博物館

協力: 宮内庁、栃木県立博物館、日本学術振興会、山階鳥類研究所

お問い合わせ: TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898  
<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。

※入館には、オンラインによる事前予約が必要です。  
詳細はホームページをご覧ください。

# 昭和天皇の生物学ご研究

昭和天皇(1901年~1989年)は、ご幼少の頃から生物を研究することに興味を持たれ、生涯にわたる標本収集、そして、特に変形菌類や植物、ヒドロ虫類についての分類学研究などにより生物学の発展に大きく貢献をされました。昭和天皇の標本コレクションは総数6万点を超え、その多くが国立科学博物館に移管されています。今年は昭和天皇のご生誕から120年となります。この記念の年に、生物学者としての昭和天皇のお姿や、そのご研究の内容について、貴重なコレクションを通じて紹介する展覧会を開催します。



昭和天皇が新種として発表されたヒドロ虫類 キセルカゴメウミヒドラ

## 昭和天皇の生物学ご研究とコレクション

昭和天皇は、ご自身で生物を採集されるだけでなく、国内外からたくさんの方の標本の寄贈も受けられました。多種多様な標本で構成される「自然史博物館」さながらのコレクションの一端を紹介します。



生物学御研究所正面(左)と液浸標本室(右) 写真提供:宮内庁



植物の押し葉標本(上) 変形菌類の彩色原画(下)

## 昭和天皇の生物学ご研究史

昭和天皇が生物学にご興味をお持ちになったのは、12歳の時に那須塩原で植物と昆虫との関係をお調べになったことがきっかけといわれています。ご幼少期から崩御までのご研究の歴史を紹介します。

ヒドロ虫類の液浸標本

## 昭和天皇のライフワーク研究

昭和天皇はご専門とする変形菌類、植物、ヒドロ虫類に関するご研究で多くの成果を挙げられました。昭和天皇のライフワークともいえるこれらのご研究について、ご収集標本や出版物を通じて紹介します。

『皇居の植物』(保育社、1989年)



## 昭和天皇と国内外の研究者との交流

昭和天皇のご研究は、服部廣太郎をはじめとする多くの研究者に支えられていました。また、昭和天皇は、生物学の発展のため、ご自身で採集された標本を国内外の研究者からの求めに応じて積極的に提供されました。



服部廣太郎 写真提供:服部浩美

## 昭和天皇の生物学へのご貢献

昭和天皇のご収集標本やご報文・ご著書などは、それぞれの生物を研究する上で欠くことのできない資料として世界的に活用されています。また、国際生物学賞が長年の昭和天皇の生物学ご研究を記念して創設されるなど、昭和天皇はさまざまな形で生物学の発展に貢献されています。



国際生物学賞賞牌 写真提供:日本学術振興会

## お歌の紹介

昭和天皇が詠まれたお歌とそこにこめられたご研究の成果や人々との交流などを紹介します。



成長したメタセコイアをご覧になる昭和天皇 写真提供:宮内庁

## 入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
- 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
- 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

## アクセス

- ◆ JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
  - ◆ 東京メトロ銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分
  - ◆ 京成電鉄 「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※館内に駐車場および駐輪場はございません

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
TEL: 050-5541-8600(ハローダイヤル)  
FAX: 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>



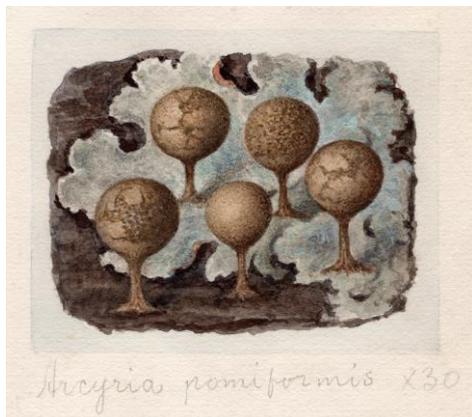
# 広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。  
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①ご生誕120年記念企画展  
「昭和天皇の生物学ご研究」ポスター



②変形菌類の彩色原画  
所蔵：国立科学博物館



③植物の押し葉標本  
所蔵：国立科学博物館



④ヒドロ虫類の液浸標本  
所蔵：国立科学博物館

## 【解説】

昭和天皇が新種として発表されたベイヤーウミヒドラ (*Hydractinia beyeri* Hirohito, 1984)のホロタイプ標本。  
※ホロタイプ標本とは、新種を発表する時にその学名の基準として選ばれた単一の標本のこと。



⑤ショウジョウエビ液浸標本  
所蔵：国立科学博物館

## 【解説】

昭和天皇が16歳の時に沼津御用邸近くの海岸にて採集された標本。  
このショウジョウエビのご採集をきっかけに昭和天皇は海産動物の研究に強い関心を持たれるようになった。

## 【記事利用の際のお願い】

- \* 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- \* 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- \* 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- \* ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail : [kikakuten@kahaku.go.jp](mailto:kikakuten@kahaku.go.jp)

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20